

# 一般質問通告書

平成26年6月5日 NO.1

質問者	質問事項	質問の要旨	答弁者
3番 阿部 文俊	1. 小中学校の各教室にエアコンの設置を	福岡市や粕屋町など近隣の市町村では、小中学校の普通教室にエアコン設置に向けて取り組んでいます。久山町は、自然が豊かだからエアコンは必要ない、暑さに耐えたくましい子どもを。という精神論的な考えでは、近年の猛暑は乗り切ることが出来ないのではないのでしょうか。また、PM2.5などの大気汚染の中、窓を開放して学習することについて、町はどのような議論がなされていますか。将来の久山を担う子ども達の健康を第一に考え、集中して学習できる環境を整えるためにも、全校普通教室にエアコンを設置する考えはないか町長の考えを問う。	町長
5番 阿部 賢一	1. 消防団協力団員の選任について	消防団員の加入率は、他の自治体よりも高い方である。半数以上はサラリーマンであるため、火災、災害時に活動するのに支障が起きている。消防団員を退団すると、そく協力団員になっているのが現状であるが、実際に活動できる人達を協力団員に選任する必要があるのではないかと町長にお聞きしたい。	町長
	2. 東久原消防団の立ち上げを	東久原においては、一定の人口があるにも関わらず、行政区としての消防団組織がない。消防団を立上げる考えはないかと町長にお聞きしたい。	〃
6番 佐伯 勝宣	1. 中学校給食導入問題	<p>①町長は先の12月議会、3月議会と、他の議員の一般質問に、中学校は給食ではなく、親の手弁当の路線でいきたい旨答弁された。この考えを否定するものではない。親の手作り弁当が、しっかりした久山町ならではの教育の一環、情操教育としての位置づけであるならば町長の方針を支持したい。しかし、これまでの答弁からはそこまでの理念があるとは感じる事ができなかった。改めて親の手弁当の意味するところを質したい。</p> <p>②夫婦共働きが当たり前の状況、食を取り巻く安全性の環境の変化など、昔に比べ親が子供に手作り弁当を持たせにくい環境になってきた。食育環境の現状を町長はどうとらえるか。また、町の政策として手作り弁当をサポートするような取り組みは考えているのか。</p> <p>③給食導入に関して、教育委員会の考えはどうであるのか。</p>	町長  〃  〃

# 一般質問通告書

平成26年6月5日 NO.2

質問者	質問事項	質問の要旨	答弁者
6番 佐伯勝宣	1. 中学校給食導入問題	④中学校側、教師の声のヒアリングはやっているか。中学校教育環境として給食導入は望ましいと考えるか。	町長
		⑤町長・執行部からは保護者から給食導入の要望はあがっていないとの答弁が続いているが、私の周囲からは相変わらず給食導入を望む声が多い。子供の食育について、一方通行の事務連絡で終わっていないか。PTA役員らの意見は聴いているのか。	〃
7番 阿部 哲	1. 久山町森林整備計画について	①第3次総合計画の基本計画による森林保全型林業の振興では、荒廃森林の整備しか示されてないが、久山町森林整備計画については、また久山町全体の森林保全をどう考えてあるか。	町長
		②森林整備における有害鳥獣対策についてどう考えてあるか。	〃
8番 本田 光	1. 久山町道の駅開発構想について	①久山町道の駅「食のひろば:レストラン」建設について、総事業費(食のひろばのみ)8億円、町の持ち出し金が約5億3千万円、国の補助金約2億8千万円と言われている。多くの町民から町の一大事業なのに、町当局、コンサル会社、議会サイドで進めているが、なぜ町民説明会を開かないのかと問われる。いま、地方自治・住民自治が問われており、「構造改革」やTPP参加推進で食の基盤が破壊されようとしている。こうした状況下で生産者、消費者、自治体、JA粕屋農協などが共同して、地域再生を目指すことが重要だと考える。従って、町民説明会を早急に開催すべきと思うがどうか。	町長
		②かつて、山田石切地域に約154ヘクタールの広大な土地を利用して、町も参画した第3セクター株式会社ヘルシーパーク久山がゴルフ場開発を目指したが、2000年(平成12年)3月、30億円超の負債を抱えて破産した。その後、パラマウント・スタジオテーマパーク・ジャパン計画も2007年(平成19年)11月破綻。この計画にアメリカ視察を含む費用、町税が1千万円超が費やされた。しかし、不透明で疑問の多い計画を進めておいて、誰も責任を取ろうとしなかった。この苦い教訓から何を学んだのか。従って、道の駅「食のひろば:レストラン」建設は、民間業者に任せるべきである。それでも町が推進し、事業主体になるのであれば、万一、失敗したときの責任所在を明確にすべきだ。	〃

# 一般質問通告書

平成26年6月5日 NO. 3

質問者	質問事項	質問の要旨	答弁者
8 番 本田 光	1. 久山町道の駅開発構想について	③大局的にみても「久山道の駅」「食のひろば」建設への国の補助金は、継続的なものではない。しかも、費用対効果も未知数であり、冒険ではないのか。いま大事なことは、26年もの歳月を経て総仕上げに入っている上久原土地区画整理事業の完全成功にこそ力を入れるべきではないのか。	町長
	2. 久山町公契約条例の制定を	①公契約とは、町が発注する工事請負契約、業務委託契約、指定管理者などに、それぞれの自治体独自の基準を定め、入札時に評価項目「労働者の賃金など労働条件確保」「環境への取り組み」や「地域貢献」等を盛り込み、落札者の決定は、価格点と評価点の総合評価で決めるというものである。工事及びサービスの質の向上を図り、地域社会の活性化に寄与するものである。地方自治体は、労働基準法等の法令の遵守、貧困を撲滅し、生存権を擁護するという責務を担っている。従って、久山町公契約条例の制定を検討してはどうか。	〃
		②公契約条例を制定すれば、働く人の賃金アップを町が指導できる。全国的には2009年(平成21年)9月野田市が先駆けて制定した。町長は公契約条例をどのように考えているのか。	〃
	3. 町指定ごみ袋の価格引き下げと袋サイズ改善を	①町民はごみ減量化に努力されている。久山町の一般家庭可燃ごみ袋1枚の販売価格(大)105円は、全県的に見ても高い。再三再四、袋料金の値下げを言っているのは、町民にとって負担が大きいためである。1枚(大)105円を値下げすることであって、そのことを問う。	〃
		②3月議会で町長は、袋サイズは大きめに改善する。消費税はかけないので実質の値下げになると答弁。実質いくら値下げしたことになるのか。	〃
9 番 松本 世頭	1. 交通対策について	①平成22年9月に質問した高速道路立花バス停の駐車場整備のその後について	町長
		②新宮町佐屋バス停の新宮ふれあいバスと久山エコバスを乗り継げるよう工夫する考えはないか。	〃
		③エコバスの運行から3年が経つが、エコバスの利用状況はどうか。	〃

# 一般質問通告書

平成26年6月5日 NO. 4

質問者	質問事項	質問の要旨	答弁者
9 番 松本世頭	1. 交通対策について	④猪野地区は、バスがない、店がない、病院がない等でタクシーを利用している人が多い。せめて猪野から山ノ神へのエコバスを通す考えはないか。	町長
	2. 町道整備について	町道整備については、再三質問している。町道の点検をシルバーが巡回していると聞すが、どのような基準で町道の整備は行われているのか。	〃
	3. 水害対策について	毎年、ゲリラ豪雨による被害が発生している。現時点での危険箇所はどの位あるのか。	〃
1 番 吉村雅明	1. 道の駅・食のひろば構想の進捗について	3月議会において、食のひろば設置予算1億9379万円が上程され、5対4の僅差で可決された。この事業は、町としての大事業であり、絶対に成功させなければならない。また、成功させるためには、議会を始め町職員が一丸とならなければならないと考える。あれから3カ月たったが、各方面への説明や当初スケジュールの地権者との協議、出資者募集等の進捗状況をお尋ねしたい。	町長
	2. 久山音頭の復活について	久山音頭は昭和48年に発表され、以降、昭和の時代は、町を始め、区の夏まつりや運動会、小・中学校の運動会等で盛んに歌ったり、踊られていたが、平成になってからは、小学校の運動会以外ほとんど聞くこともなくなった。特に若い人は、久山に音頭があることさえ知らないのではないか。今後、町の活性化のためにも有線で流したり、広報に歌詞を掲載する等行い、ぜひ久山音頭の復活を望みたいと思うが。	〃